

北海道国立大学機構 ヒトづくり・モノづくり基金へのご寄附のお申込み方法

ご寄附の
方法

右記二次元バーコードまたは
下記URLよりお申込みいただけます。



お申込みURL <https://www.nuc-hokkaido.ac.jp/about/public-relations.php?tab=02>

お申込み手順

- 1 お申込みURL・二次元バーコードにアクセスしてください。
- 2 ご寄附について→「F-REGI寄附支払いサイト」はこちらを選択。
- 3 申込みフォームが開きます。
- 4 寄附の種類・金額・住所、氏名等の必要事項をご入力ください。
- 5 決済方法をお選びください。



お支払い方法

クレジットカード
決済

以下のクレジットカードがご利用になれます。



コンビニ決済

【ご利用可能なコンビニエンスストア】
セブンイレブン・ファミリーマート・ローソン・ミニストップ・セイコーマート

銀行決済
(Pay-easy)

インターネットバンキングから払込みいただけるサービスです。
手続きには、金融機関とのネットバンキング契約が必要です。

郵便振替

郵便振替による払込みをご希望の方は、北海道国立大学機構ヒトづくり・モノづくり基金パンフレットに付属している「払込取扱票」に必要事項をご記入の上、最寄りのゆうちょ銀行・郵便局窓口にて手続きをお願いします。

お問い合わせ

北海道国立大学機構
総務課基金担当

〒080-8555 北海道帯広市稲田町西2線11
TEL:0155-65-4314
E-mail:somu02@office.nuc-hokkaido.ac.jp

北海道国立大学機構

2023
|
2024

ヒトづくり・モノづくり 基金報告書



Hokkaido Higher Education
and Research System
Fund Report

北海道を支える人材の育成と
産学官金連携による北海道経済・産業の
発展に貢献することを目指します。
皆様からのご支援に心より感謝申し上げます。

国立大学法人北海道国立大学機構
理事長

長谷山 彰

皆様におかれましては、日頃より北海道国立大学機構の活動
にご理解、ご支援を賜り誠に有難うございます。2022年4月
に発足した北海道国立大学機構は、北海道の広域で、商学、
農畜産学、工学分野の特色ある教育研究を展開してきた小樽
商科大学、帯広畜産大学、北見工業大学が連携して分野融合
的な新しい教育研究を開発し、北海道を支える人材の育成と
産学官金連携による北海道経済・産業の発展に貢献するこ
とを目指しています。

教育イノベーションセンター（ICE）では、三大学の学生が分
野を越えて学べる三大学単位互換科目や、自治体と連携して
北海道各地にサテライトを設立し、すべての北海道民に高等
教育へのアクセス機会を提供する「ユニバーサル・ユニバー
シティ構想」「リカレント教育プラットフォーム構築」など新た
な取り組みが始まっています。オープンイノベーションセン
ター（ACE）では、AI/IoTスマート農畜産業、総合災害対策、
道内空港を活用した観光・食品ニュービジネスなどのプロ

ジェクトが進んでいます。2024年4月には多様なステークホ
ルダーに対する一元的な窓口となり、ICE、ACEと連携して産
学共同プロジェクトの拡大を担う産学官金連携統合情報セ
ンター（IIC）も発足しました。

このような先端的な取り組みを支えるために本機構は「ヒト
づくりモノ・づくり基金」を創設しました。機構の目標に賛同
頂ける皆様からのご寄附を基金化して未来に伝え、運用益に
よって取り組みを支えることが目的です。2024年秋から募金
活動を開始し、短期間に多くの個人、団体からご寄附を頂戴
することができました。基金の目標額10億円に到達するため
にはまだまだ時間がかかると思いますが、2025年度からは基
金の運用が始まります。豊かな北の大地で「知の拠点」を形
成し、北海道の発展に貢献することを目指す北海道国立大学
機構の活動に、これからもご理解とご支援を賜りますようお
願い申し上げます。

2023-2024年度 北海道国立大学機構 ヒトづくり・モノづくり基金へのご寄附

本機構ヒトづくり・モノづくり基金にご寄附をお寄せいただき、誠にありがとうございます。
2023～2024年度のご支援累計は以下となりました。

2023～2024年度のヒトづくり・モノづくり基金への組入額詳細

累計総額

86,737,177円

累計総件数

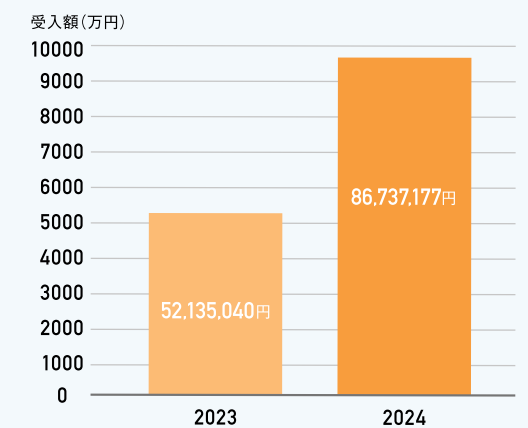
109件

※2023-2024年度はヒトづくり・モノづくり基金は造成期間であったことから支援事業実績なし

属性別受入件数（累計）

	法 人	個 人			
		教職員 (退職者含む)	卒業生	保護者	その他
寄附件数 実績(件)	22	8	71	2	6
寄附組入額 実績(円)	71,080,000	430,000	1,041,000	15,000	14,130,000

年度別組入額推移（累計）



※累計総額には、他の事業経費に使用する額を除いた基金への組入額のみを計上しています。（ヒトづくり・モノづくり基金への寄附額は、96,737,177円）

ご寄附特典

ヒトづくり・モノづくり基金へ一定額以上のご
寄附をいただいた方のご芳名を掲載し、末永く
謝意の表明をするため、北海道国立大学機構
本部及び各大学に銘板を設置しております。

※公表を希望されない方につきましては、掲載をしておりません。
また、お名前は設置している全ての銘板に掲載させていただきます。



令和6年8月時点

【設置場所】

機構本部(事務局玄関)
小樽商科大学(事務棟1階玄関)
帯広畜産大学(かしわプラザロビー)
北見工業大学(3号館1階玄関ロビー)

返礼品のご案内

ヒトづくり・モノづくり基金では、一定額以上ご寄附をい
ただいた個人の方に、感謝の気持ちとして返礼品をお贈
りしています。この度、2025年4月から各企業様にご協
力をいただき、各大学に関連する商品等を追加しました。

詳細は
当機構WEBサイトを
ご確認ください。



寄附額 10,000円以上	小樽新倉屋 500円相当商品引換券 畜大アイスクリームスプーン 畜大牛乳デザインタオル 永田製飴 ハッカ飴、酒粕飴 グリーンズ北見北海道スープ(12袋×1箱)
寄附額 15,000円以上	小樽新倉屋 750円相当商品引換券 畜大フォトフレーム グリーンズ北見 スープセット
寄附額 30,000円以上	小樽新倉屋 1,500円相当商品引換券 小樽新倉屋 石倉くるみ餅(6個入) ハッカ通商 ハッカ商品セット
寄附額 50,000円以上	上川大雪碧雲蔵 特別純米萌宥(帯広畜産大学) 上川大雪碧雲蔵 純米吟醸畜大酒(帯広畜産大学) 北見工大名刺入れ 北見工大小銭入れ 環境大善 きえ〜るギフトセット
寄附額 100,000円以上	小樽商科大学 110周年記念ネクタイ

… 事業報告 TOPICS …

4月

- 産学官金連携統合情報センター (IIC) の新設



5月

- 北海道国立大学機構シンポジウム(東京)を実施



8月

- 環境広場さっぽろ 2024に出典



10月

- 三大学交流事業三大学硬式野球部交流戦を実施



11月

- Matching HUB Hokuriku 2024 (石川)に出展



- ビジネスEXPO2024 (札幌)に出展
- Executive MBA (EMBA)プログラム (パイロットコース)を開催

12月

- エア・ウォーターの森に札幌サテライトを開設



- エコプロ 2024 (東京)に出展
- 三大学単位互換科目健康スポーツII「スキー集中授業」を実施



2月

- エア・ウォーター北海道(株)と包括連携協定を締結
- 令和6年度北海道国立大学機構オープンイノベーションセンター全体会議を開催



3月

- 令和6年度北海道リカレント教育プラットフォームシンポジウムを開催



事業報告 PICK UP

1



2024年 5月

北海道から切りひらく日本の未来～食・エネルギー・防災を支えるデジタル空間～
／ 北海道国立大学機構の挑戦

■ 北海道国立大学機構シンポジウム(東京)を実施

2024年5月23日(木)東京・大手町でシンポジウム『北海道から切りひらく日本の未来～食・エネルギー・防災を支えるデジタル空間～／北海道国立大学機構の挑戦』を開催しました。

本シンポジウムでは、北海道国立大学機構及び三大学の取り組みの一部をご紹介するとともに、多彩なゲストによる議論を通じて北海道の発展に貢献する北海道国立大学機構の将来像を模索するため、基調講演やパネルディスカッションを行いました。

当日は、対面開催と同時に、オンラインにてシンポジウムの様子を配信し、産業界関係者など対面約150人、オンライン約550人の参加がありました。

■ 基調講演



三菱総合研究所理事長 小宮山宏氏から「北海道をプラチナ社会に～大学こそ変革の核となろう～」をテーマにご講演をいただきました。講演では、地球が持続し、豊かで人の自己実現を可能にする社会を「プラチナ社会」と名付け、「プラチナ社会」の実現に対する北海道のポテンシャルや変革の核としての大学の関わり、三大学の知を融合した北海道国立大学機構への期待等をお話いただきました。

■ パネルディスカッション

パネルディスカッションでは、慶應義塾大学 教授 村井 純 氏をファシリテーターとしてお迎えし、北海道の基幹産業である食農ビジネス、流通販売、物流、金融のトップと「北海道から切りひらく日本の未来」として、北海道の物流や一次産業の課題、各社の取り組みについてご議論いただきました。また、北海道国立大学機構への期待として、人材育成や循環型地域作り、産学協働による社会実装などについて語っていただきました。

パネリスト

- 株式会社北海道銀行 代表取締役頭取 兼間 祐二 氏
- 株式会社ロジネットジャパン 代表取締役 社長執行役員 橋本 潤美 氏
- 株式会社セコマ 代表取締役会長 丸谷 智保 氏
- 株式会社農林中金総合研究所 理事長 皆川 芳嗣 氏

通年

教育イノベーションセンターによる 商農工連携・融合教育の実施

■ 文理融合教育プログラムの実施

三大学連携文理融合教育プログラムは、三大学の授業科目を複合的に組み合わせ専門分野に加えて異分野の知識・技術等を習得することで、社会の各分野でリーダーとして活躍する人材を育成することを目的としたプログラムです。小樽商科大学提供の「アントレプレナーシッププログラム」、帯広畜産大学提供の「スマート農畜産業プログラム」、北見工業大学提供の「スポーツ・健康プログラム」があり、令和6年度までに累計で37名が所属し、4名がプログラムを修了しました。



「アントレプレナーシップセミナーII」フィールドワーク(上川町 緑丘蔵見学)

■ 三大学単位互換科目の開講

三大学単位互換科目は、自身の所属する大学の授業科目に加えて他の二大学の一部授業科目を受講できるものです。「数理・データサイエンス科目」、「文理融合導入科目」、「地域理解・課題解決型科目」、「ベンチャーマインド醸成科目」という教育科目群を有し、令和6年度は52科目を提供して、6,711名が履修しました。

数理・データサイエンス科目

数理的思考、データ分析、活用能力を習得する導入教育
●数理データサイエンス概論 ●プログラミング入門I 等

文理融合導入科目

分野を越えた専門知を育成するための導入教育
●社会科学入門 ●農業とテクノロジー
●農業と経済 ●地域環境科学 等

地域理解・課題解決型科目

地域の課題解決に向けた意識を育むための基盤教育
●北海道産業論I ●地域活性化システム論
●とかち学 ●北海道学 等

ベンチャーマインド醸成科目

ビジネスプランを立案・実施できる能力を育成
●アントレプレナーシップ概論 ●アントレプレナーシップセミナーI
●科学技術と社会の展望 等

■ リカレント教育プログラムの実施



「HACCP・食品安全管理プログラム」帯広セミナーの受講風景

令和6年度は「HACCP・食品安全管理プログラム」、「インフラの防災・維持管理を担う技術者のための基礎講座」、「中小・小規模企業者を対象としたSDGs実践セミナー」のプログラム・セミナーを実施しました。このほか、文部科学省委託事業であるリカレント教育プラットフォーム構築事業において「EMBAプログラム」を前期・後期に分け計12講座を実施しました。



EMBAプログラムポスター

2025年2月

令和6年度北海道国立大学機構 オープンイノベーションセンター全体会議を開催

■ 三大学による分野融合型研究の成果発表

2025年2月28日(金)、札幌市桑園にあるエア・ウォーターの森において、オープンイノベーションセンター(以下、ACE)全体会議を開催しました。ACE全体会議は、2022年度から実施しており、今年度で3回目となります。今回は、ACEの活動を機構内外に広くPRすることに重点を置き、ACEがサポートしている研究成果発表を中心とした構成にするとともに、経営協議会の委員をはじめ、会場となったエア・ウォーターの森に参画する外部機関の皆様も参加いただき、70名を超える参加者となりました。

ACE5部門からの活動報告の後、ACEが【オープンイノベーション促進共同研究事業】により研究費を支援している複数大学の教員が参画する6件の分野融合型研究プロジェクトの成果等が発表されました。活発な質疑応答が行われるとともに、当該研究の今後の進展や社会実装に向けた建設的な意見も多く寄せられ、有意義な全体会議となりました。



★ 大 湊 亮 輔 小樽商科大学・学術研究員 福 間 直 希 帯広畜産大学・准教授	北海道一次産業における商流改革の可能性に関する研究報告
★ 藤 原 健 祐 小樽商科大学・准教授	ウェルビーイングエコシステムの創出に向けたデータ・ドリブン型の実証・研究サイクルの構築に関する研究
★ 浪 越 毅 北見工業大学・准教授 藤 見 佳 奈 枝 小樽商科大学・特任准教授	種子のポリマーコーティングによる秋播き栽培システムの開発
★ 渡 辺 純 帯広畜産大学・教授 窪 田 さ と 子 帯広畜産大学・准教授 新 井 博 文 北見工業大学・教授	北方系小果実・生薬原料成分の機能性評価と食品開発を目指した社会実装へのアプローチ
★ 館 山 一 孝 北見工業大学・准教授 東 陽 介 帯広畜産大学・准教授 大 湊 亮 輔 小樽商科大学・学術研究員	環境データ駆動型観光Zekkeiプロジェクトの活動報告
★ 宝 寄 山 颯 太 北見工業大学・大学院生 富 山 和 也 北見工業大学・准教授 浅 利 裕 伸 帯広畜産大学・准教授	路面標示のロードキル抑制効果とドライバーへの影響について

★マークは研究発表者 ※職名は2025年2月28日時点